

[110] 文學研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/26250>

出版情報：文學研究. 110, 2013-03-18. Faculty of Humanities, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

彙報

国語学国文学研究室

講義題目

平成二十四年度第一学期

文学部

| | | | |
|------------------------------|------|-------------------------------|------|
| 国語学講義Ⅰ 日本語アクセント史の研究(Ⅰ) | 高山倫明 | 国文学講義Ⅶ 『枕草子』研究方法論 | 古瀬雅義 |
| 国語学演習Ⅰ 旋頭歌の研究 | | 人文科学府 | |
| — 言語史資料としての万葉集—(Ⅰ) | 高山倫明 | 日本語史特論Ⅰ 日本語音韻史の諸問題(Ⅰ) | 高山倫明 |
| 国語学講義Ⅲ 日本語文法史研究(Ⅰ) | 青木博史 | 日本古代語史研究Ⅰ 訓点資料の研究(Ⅰ) | 高山倫明 |
| 国語学演習Ⅲ 中世語研究(Ⅰ) | 青木博史 | 博士演習 古代語の研究(Ⅰ) | 高山倫明 |
| 国文学講義Ⅰ 物語文学史研究 | 辛島正雄 | 日本語学方法論特論Ⅲ 日本語文法史研究(Ⅰ) | 青木博史 |
| 国文学演習Ⅰ 『大鏡』注釈(Ⅰ) | 辛島正雄 | 日本近代語史研究Ⅰ 抄物資料研究(Ⅰ) | 青木博史 |
| 国文学講義Ⅲ 江戸の文章スタイル | 川平敏文 | 博士演習 日本語文法論研究(Ⅰ) | 青木博史 |
| 国文学演習Ⅲ 上田秋成『諸道聴耳世間猿』訳注と研究(Ⅰ) | 川平敏文 | 古代散文論特論Ⅰ 物語文学史の研究 | 辛島正雄 |
| 国文学演習Ⅴ 日本近代文学研究(Ⅰ) | 川平敏文 | 日本古代文学作品研究Ⅰ 日本中古・中世文学研究の方法(Ⅰ) | 辛島正雄 |
| 比較社会文化研究院 | 松本常彦 | 博士演習 日本中古・中世文学研究の諸問題(Ⅰ) | 辛島正雄 |
| | | 近世文芸史論特論Ⅰ 江戸文体史論 | 川平敏文 |
| | | 日本近世文学作品研究Ⅰ 山岡元隣『宝蔵』訳注(Ⅰ) | 川平敏文 |
| | | 博士演習 江戸文学の諸問題(Ⅰ) | 川平敏文 |
| | | 日本近代文学作品研究Ⅰ 日本近代文学研究 | 松本常彦 |
| | | 比較社会文化研究院 | |
| | | 日本文学特論Ⅲ 『枕草子』研究方法論 | 古瀬雅義 |
| | | 安田女子大学 | |

論文指導

各 教 員

平成二十四年度第二学期

文学部

国語学講義Ⅱ 日本語アクセント史の研究(2)

国語学演習Ⅱ 旋頭歌の研究

— 言語史資料としての万葉集—(2)

国語学講義Ⅳ 日本語文法史研究(2)

国語学演習Ⅳ 中世語研究(2)

国語学講義Ⅶ 日本語学説史の研究

名古屋大学

国文学講義Ⅱ 平安・鎌倉時代文学史概論

国文学演習Ⅱ 『大鏡』注釈(2)

国文学講義Ⅳ 江戸時代の芸能史概論

国文学演習Ⅳ 上田秋成『諸道聴耳世間猿』訳注と研究(2)

国文学講義Ⅷ 江戸の紀行文学

福岡教育大学

国文学演習Ⅵ 日本近代文学研究(2)

比較社会文化研究院

日本語史特論Ⅱ 日本語音韻史の諸問題(2)

人文科学府

日本語史特論Ⅱ 日本語音韻史の諸問題(2)

日本古代語史研究Ⅱ 訓点資料の研究(2)

博士演習 古代語の研究(2)

日本語学方法論特論Ⅱ 日本語文法史研究(2)

日本近代語史研究Ⅱ 抄物資料研究(2)

博士演習 日本語文法論研究(2)

日本語学特論Ⅲ 日本語学説史の研究

名古屋大学

古代散文論特論Ⅱ 平安・鎌倉時代文学史研究(2)

日本古代文学作品研究Ⅱ 日本中古・中世文学研究の方法(2)

博士演習 日本中古・中世文学研究の諸問題(2)

近世文芸史論特論Ⅱ 江戸の芸能と文学

日本近世文学作品研究Ⅱ 山岡元隣『宝蔵』訳注(2)

博士演習 江戸文学の諸問題(2)

日本文学特論Ⅳ 江戸の紀行文学

日本近代文学作品研究Ⅱ 日本近代文学研究(2)

比較社会文化研究院

論文指導

各 教 員

青木博史

青木博史

青木博史

青木博史

青木博史

青木博史

青木博史

青木博史

青木博史

学会・研究室行事

○九州大学国語国文学会

(二〇二二年六月三日(日))

於九州大学中央図書館視聴覚ホール)

『在明の別』の女院についての一考察

九州大学大学院生 小松 明日佳

歌川豊国筆「揃物市川团十郎舞台似顔絵」について

九州大学大学院生 工藤 いずみ

「感」の文法的性格について

九州大学大学院生 中平 詩織

明治後期における仮名使用について

韻文資料を中心に―九州大学大学院生 巢山 優希

副詞「どうやら」の史的変遷 弘前大学 川瀬 卓

石水博物館蔵『正三位物語』について

九州産業大学 宮崎 裕子

紀貫之の創作手法―『古今和歌集』左注と『土佐日記』―

京都女子大学 坂本 信道

○平成二十三年度西日本国語国文学会

(二〇二二年九月十五日(土)・十六日(日))

於清武町文化会館)

『大和物語』一四六段「あさみどり」の歌に関する一考察

九州大学大学院生 小松 明日佳

北村季吟『和漢朗詠集註』考

九州大学大学院生 村上 義明

明治後期活字資料における仮名表記

九州大学大学院生 巢山 優希

縁起・参詣の文芸と絵解き

―赤間神宮蔵「安徳天皇縁起絵図」をめぐって―

九州産業大学 森 誠子

『浜松中納言物語』の歌ことばについて

―「とこの浦」と「にほの海」と―

九州大学 辛島 正雄

(関係者のみ)

研究室刊行物

○語文研究 第二二二号(二〇二二年十二月発行)

『落窪物語』の典薬助をめぐる求婚難題譚考

―「竹取物語」の受容を中心に― 梁 丹

語り継がれる「濡れ衣」説話

―博多における「濡れ衣」説話―続考― 森 誠子

広島藩の文芸と藩儒寺田臨川(上) 久保田 啓一

字体からみた『新訳華厳経音義私記』の撰述手法 賈 智

中央語と鹿児島方言における

「動詞連用形+サマニ」の史的展開

副詞「そろそろ」の史的变化遷

久保蘭 愛

川瀬 卓

中国文学研究室

講義題目

*印は他講座教員との共同オムニバス授業

○語文研究 第一一四号(二〇二二年六月発行)

後鈴屋社中の歌会

菱岡 憲司

広島藩の文芸と藩儒寺田臨川(下)

久保田 啓一

『風葉和歌集』における人物呼称

宮崎 裕子

九州大学文学部蔵本『(H)ぎ十二通切紙』の連声について

蛭沼 芽衣

平成二十四年度前学期

全学教育科目・文学部共通科目

古典の世界「中国古典の世界」

文学基礎

竹* 村 教授

中国語(中級)Ⅲ・中国語初歩Ⅰ

竹* 村 教授

中国語会話Ⅰ・中国語作文Ⅰ (九州産業大学)

呉 紅華 教授

○文献探究 第五〇号(二〇二二年三月発行)

九州大学文学部蔵『(H)ぎ十二通切紙』解題と翻刻

蛭沼 芽衣

小津久足の歌稿について

菱岡 憲司

九州大学附属図書館蔵『おちくほ』解題と翻刻(一)

梁丹

『石清水物語』第三系統諸伝本に関する研究(一)

宮崎 裕子

本邦文献に見られる漢語「迷惑」の受容

張 愚

— 上代から中世前期までの用例を中心に —

青木 博史

異言語接触と日本語文法史

張 愚

— 上代から中世前期までの用例を中心に —

青木 博史

異言語接触と日本語文法史

青木 博史

— 上代から中世前期までの用例を中心に —

青木 博史

異言語接触と日本語文法史

青木 博史

— 上代から中世前期までの用例を中心に —

青木 博史

異言語接触と日本語文法史

青木 博史

— 上代から中世前期までの用例を中心に —

青木 博史

異言語接触と日本語文法史

青木 博史

文学部

講義 中国の出版文化と中国文学史研究

竹村 教授

演習 『東周列国志』 演習

竹村 教授

演習 杜詩講読Ⅰ

(梅光学院大学) 中尾健一郎准教授

演習 古代詩文選読

杜 教師

演習 中国文学研究法

杜 教師

演習 中国語文法研究

(言語文化研究院) 西山 准教授

人文科学府

講義 中国の出版文化と中国文学史研究

竹村 教授

演習・博士演習 王昭君文学史研究

竹村 教授

演習 杜詩研究Ⅰ

(梅光学院大学) 中尾健一郎准教授

演習 中国文学研究法

杜 教師

論文指導 中国語学中国文学の諸問題

竹 村 教授

平成二十四年度後学期

全学教育科目・文学部共通科目

中国語（中級）Ⅳ・中国語初歩Ⅱ

（九州産業大学） 吳 紅華 教授

中国語会話Ⅱ・中国語作文Ⅱ

杜 教師

中国語科指導法Ⅰ

（北九州市立大学） 平田直子准教授

文学部

講義 中国の出版文化と中国文学史研究

竹 村 教授

演習 『東周列国志』演習

竹 村 教授

演習 杜詩講読Ⅱ

（梅光学院大学） 中尾健一郎准教授

演習 古代詩文選読

杜 教師

演習 中国文学研究法

杜 教師

演習 中国語文法研究

（言語文化研究院） 西山 准教授

集中講義 上古漢語の音韻に関する諸問題

（放送大学） 宮本 徹准教授

人文科学府

講義 中国の出版文化と中国文学史研究

竹 村 教授

演習・博士演習 王昭君文学史研究

竹 村 教授

演習 杜詩研究Ⅱ

（梅光学院大学） 中尾健一郎准教授

演習 中国文学研究法

杜 教師

論文指導 中国語学中国文学の諸問題

竹 村 教授

学会・研究室行事

○中国文藝座談会

第二五七回（二〇二二年二月四日）於四階会議室

『史記』における項羽と劉邦像

大 平 倫 高

陶晶孫の福岡滞在と九大ファイルハーモニイ会

幸 島 光 義

『風景』の発見以前―中国伝統小説の場合―

中 里 見 敬

敦煌変文における近称指示詞の諸相

西 山 猛

第二五八回（二〇二二年三月三日）於四階会議室

中国文学における子女描写

金 見 正 悟

中国初学教育における『千字文』

吉 田 光 一

明代文人の交友―王世貞と李攀龍の書簡を中心に―

土 屋 育 子

三国戲中関羽の称謂

威 世 雋

第二五九回（二〇二二年四月二十八日）於教育学部一階会議室

胡応麟の小説蒐集―『搜神記』を手がかりに―

雁 木 誠

蕉園詩社の成立について

李 恬

蘇軾父子と和陶詩

原 田 愛

元朝統治下の劉辰翁

奥 野 新 太 郎

第二六〇回（二〇二二年八月四日）於四階会議室

武周革命と洛陽の詩歌

種 村 由 季 子

楊万里と周必大

李 祥

清末民初におけるマーク・トウエインの移入と日本

— 陳景韓訳「食人会」を例として — 梁 艶

文人尺牘から書簡体文学へ — 周作人の場合 — 呉 紅華

第二六一回 (二〇二二年九月十五日) 於四階会議室

崔令欽の「教坊記」製作について 劉 潔

元稹「連昌宮詞」とその故地 長谷川 真史

留学時期における草野心平の詩風と徐玉諾 裴 亮

第二六二回 (二〇二二年十一月十七日) 於四階会議室

謝靈運の文学創作を支えたもの

— 「山居賦」とその自注を中心に — 東 美緒

『封神演義』の「鍾伯敬」評について 岩 崎 華奈子

歐陽脩新発見書簡の特色について — 新発見書簡35 「又(與孫威

敏公)」、42 「與劉侍讀」、69 「與杜郎中」、70 「又(與杜郎中)」

の四篇と通行本書簡との重複内容に着目して — 東 英寿

○第六〇回九州中国学会大会発表

(二〇二二年五月十二日〜十三日、於福岡教育大学)

明代における『搜神記』の刊行と胡応麟 雁 木 誠

清初における女流文学結社の成立 — 蕉園詩社を中心として — 李 恬

林羅山『聖蹟図説諺解』に記録が残る明・鄧槩の跋について 竹村 則行

○第十六回宋代文学研究談話会発表

(二〇二二年五月十九日、於九州大学伊都キャンパス)

宋元交替と劉辰翁 奥 野 新太郎

陸游と『世說新語』 甲 斐 雄一

蘇軾没後の蘇門 — 「和陶詩」への意識を中心に — 原 田 愛

○第二十八回全国漢文教育学会大会発表

(二〇二二年五月二十六日〜二十七日、於福岡大学)

白居易の新樂府「母別子」をめぐる 奥 野 新太郎

— 中国古典詩における母と子 —

○第六十四回日本中国学会大会発表

(二〇二二年十月六日〜七日、於大阪府立大学)

中唐における連昌宮の荒廃と元稹 長谷川 真史

研究室刊行物

○『中国文学論集』第四一号 (二〇二二年十二月二十五日発行)

『三都賦』本文にみる漢賦からの継承と発展 栗 山 雅 央

周顯行年攷略 杜 暁 勤

元稹「連昌宮詞」故地考 長谷川 真 史

蘇轍の後裔と蘇轍文集の編纂 原 田 愛

劉辰翁の「愛国詞人」のイメージについて 奥 野 新太郎

蕉園詩社と杭州顧氏 李 恬

人事異動

戚 世傳 三月三十一日、招聘外国人教師の任期を満了し、
 中山大学中文系に帰任。
 杜 曉勤 四月一日、招聘外国人教師として、北京大学中文
 系より着任。

英語英文学研究室

講義題目(平成二十四年度前学期)

英語学

| | | |
|----------|---------------------------------------|-----------|
| 論文指導 | | 西岡教授 |
| 英語学講義Ⅱ | 英文法の諸問題 | 西岡教授 |
| 英語学演習Ⅳ | 生成文法入門Ⅰ | 西岡教授 |
| 英語学特論Ⅰ | ミニマリスト統語論の基礎 | 西岡教授 |
| 英語学研究Ⅰ | 統語論研究Ⅰ | 西岡教授 |
| 博士演習 | 統語論研究Ⅰ | 西岡教授 |
| 英語学演習Ⅱ | Phonetics | ラーソンホール教師 |
| 英語学演習Ⅻ | Animal Communication | ラーソンホール教師 |
| 英語学特殊研究Ⅰ | Second Language Acquisition of Syntax | ラーソンホール教師 |

英語学講義Ⅴ 削除現象の日英語比較

(南山大学人文学部) 斎藤衛教授

英語学特論Ⅷ 削除現象の日英語比較

(南山大学人文学部) 斎藤衛教授

イギリス文学

| | | |
|-----------|---------------------------------|-------|
| 論文指導 | | 鵜飼准教授 |
| イギリス文学演習Ⅹ | Jane Austen研究 | 鵜飼准教授 |
| イギリス文学演習Ⅺ | Thomas Hardy研究 | 鵜飼准教授 |
| イギリス文学特論Ⅲ | Virginia Woolf, Mrs. Dalloway研究 | 鵜飼准教授 |
| イギリス文学研究Ⅲ | George MacDonald研究Ⅱ | 鵜飼准教授 |
| 博士演習 | Virginia Woolf, Mrs. Dalloway研究 | 鵜飼准教授 |
| イギリス文学講義Ⅵ | ロマン主義の諸相 | 鵜飼准教授 |
| | (東京大学大学院総合文化研究科) 大石和欣 | 准教授 |
| イギリス文学特論Ⅱ | ロマン主義の諸相 | 鵜飼准教授 |
| | (東京大学大学院総合文化研究科) 大石和欣 | 准教授 |
| 論文指導 | | 高野准教授 |
| アメリカ文学講義Ⅰ | アメリカ女性文学史 | 高野准教授 |

アメリカ文学

アメリカ文学演習Ⅳ Toni Morrisonの*The Bluest Eye*を読む
高野 准教授

アメリカ文学特論Ⅲ Leslie Fiedler: *Love and Death in the*

American Novel 高野 准教授

アメリカ文学研究Ⅲ Vladimir Nabokovの*Lolita*を読む
高野 准教授

博士演習 Vladimir Nabokovの*Lolita*を読む
高野 准教授

アメリカ文学演習Ⅷ Shirley Jackson's *The haunting of*

Hill House ローウェンスタイン教師

アメリカ文化研究Ⅰ James Agee's *A Death in the Family*
ローウェンスタイン教師

アメリカ文学講義Ⅴ 解釈の方法論
(立教大学文学部) 舌津智之 教授

アメリカ文学特論Ⅴ 解釈の方法論
(立教大学文学部) 舌津智之 教授

英作文Ⅰ Composition I ローウェンスタイン教師

英会話Ⅰ English Conversation I ランソンホール教師

英会話Ⅰ English Conversation I ローウェンスタイン教師

講義題目(平成二十四年度後学期)

英語学

論文指導 英語学 西岡 教授

英語学演習Ⅲ 英語の法助動詞と否定 西岡 教授

英語学演習Ⅵ 生成文法入門Ⅱ 西岡 教授

英語学特論Ⅱ ミニマリスト統語論分析 西岡 教授

英語学研究Ⅱ 統語論研究Ⅱ 西岡 教授

博士演習 統語論研究Ⅱ 西岡 教授

英語学演習Ⅴ Phonology ランソンホール教師

英語学特殊研究Ⅱ Research Methods ランソンホール教師

イギリス文学

論文指導 英文学 鶴飼 准教授

イギリス文学講義Ⅳ Jane Austen論 鶴飼 准教授

イギリス文学演習Ⅶ Daniel Defoe研究 鶴飼 准教授

イギリス文学特論Ⅳ Virginia Woolf: *To the Lighthouse*研究 鶴飼 准教授

イギリス文学研究Ⅳ George MacDonald研究Ⅲ 鶴飼 准教授

博士演習 Virginia Woolf: *To the Lighthouse*研究 鶴飼 准教授

イギリス文学講義Ⅱ シェイクスピア演劇におけるキルケ像

(京都大学文学研究科) 廣田篤彦 准教授

イギリス文学特論Ⅰ シェイクスピア演劇におけるキルケ像

(京都大学文学研究科) 廣田篤彦 准教授

アメリカ文学

論文指導 高野 准教授

アメリカ文学演習Ⅰ Carson McCullers, *The Heart Is*

*a Lonely Hunter*を読む 高野 准教授

アメリカ文学演習Ⅱ Willa Cather's *My Antonia*を読む

高野 准教授

アメリカ文学特論Ⅳ Judith Fetterley, *Resisting Reader*

高野 准教授

アメリカ文学研究Ⅳ Vladimir Nabokov's *Invitation of a Beulah*を読む

高野 准教授

博士演習 Vladimir Nabokov's *Invitation of a Beulah*を読む

高野 准教授

アメリカ文学演習Ⅷ Walter Mosley's *The Last Days of*

Ptolemy Grey ローウエンスタイン教師

アメリカ文学演習Ⅹ American Flash Fiction: an

ever-evolving "new-old" form ローウエンスタイン教師

アメリカ文化研究Ⅱ Steven Milhauser's *We Others* ローウエンスタイン教師

英米研究 American Studies ローウエンスタイン教師

英文文Ⅱ English Composition II ラーソンホール教師

英会話Ⅱ English Conversation II ローウエンスタイン教師

英会話Ⅱ English Conversation II ラーソンホール教師

学会・研究室行事

日本英文学会第64回大会研究発表

(2012年10月 於九州産業大学)

バレット・ブラウニング『オーロラ・リー』のホメロス問題

浜本 裕美

*The Voyage Out*における旅の意味の二重性

魯威にさらされたアイデンティティ

—『響きと怒り』におけるクウエンティンの

ジェンダーとセクシュアリティの揺らぎ—

吉村 幸

『書記バートルビー』における語り手の苦悩

—語りへのアプローチ—

宮地 悠

内なる荒野へ—A Mercyにおける自由への旅路—

弱フェーズに関する考察—素性継承の拡張

使役構文研究—態の観点から—

吉田 希依
大塚 知昇
萱嶋 崇

Copular 文とその移動規制に関する統語的分析

水上 拓郎

英語条件節からの抜き取りに関する統語分析
遊離数量詞について

吉村 理一
溝江 恵美子

8th Workshop on Altaic Formal Linguistics

(2012年5月 於 Stuttgart University)

The Fine Structure of the vP Periphery and Locative

Inversion in Japanese and English 前田 雅子

Glow in Asia 9 (2012年9月 於 三重大学)

Scrambling and Intervention Effects under Derivational Chain

Interpretation 前田 雅子

日本英語学会第30回大会(2012年11月 於 慶応義塾大学)

Phase理論からみる動名詞構文 下 仮 屋 翔

ELSIJ International Spring Forum

(2012年4月 於 甲南大学)

On the Asymmetric Behavior of Movements in the Double

Object Construction 大塚 知 昇

日本英語学会国際春季フォーラム2012

(2012年4月 於 甲南大学)

A Syntactic Analysis of Gapping and Multiple Sluicing

高木 留美

2012年度福岡言語学会第1回例会

(2012年5月 於 九州大学)

空所化と多重間接疑問縮約における島の効果について

高木 留美

第51回シェイクスピア学会(2012年10月 於 秋田大学)

シェイクスピア劇の“Manoeuvrers”―声を内包するテキスト

園田 靖

九州アメリカ文学会第58回大会

(2012年5月 於 熊本大学)

欲望するIsabel―*The Portrait of a Lady*のヒロイン考

斎藤 彩世

敗北の美学と語り―Fitzgerald長編における語り手と

作家たち― 日下 幸織

封印された「ナガサキ・ルポ」『*First into Nagasaki*』解読

―最初のアメリカ人ジャーナリストはナガサキ原爆

言説をいかに形作るうとしたのか― 永川 とも子

日本アメリカ文学会第51回大会

(2012年10月 於 名古屋大学)

*The Marble Faun*におけるローマの病 田 島 優子

日本ナサニエル・ホーソン協会九州支部第48回大会

(2012年9月 於 福岡大学)

『大理石の牧神』再考 田 島 優子

American Studies Conference 2012

(2012年9月 於 東京国際文化会館)

Literary Analysis of the narrative technique of "Hiroshima Report" written by Homer Bigart 永 川 ともし子

原爆文学研究会(2012年12月 於 九州大学西新プラザ)

あるアメリカ人記者の痕跡

—ホーマー・ビガート著『ヒロシマ・ルポ』における

語りの手法に関する考察— 永 川 ともし子

『九大英文学』54号(2012年3月)

脅かす子ども—『フランケンシュタイン』における

疑似的親子と植民地主義— 浅 田 えり佳

Tourism, Anti-Tourism, and Communities:

E. M. Forster's Representation of Modern Tourism in

A Room with a View 大 谷 英理果

『静寂』を破る毒—王十Hamletを殺したものの園 田 靖

Grotesqueness and Cruelty in George MacDonald's

The Princess and the Goblin 田 中 優子

*Dangling Man*における視点と身体的所作の力学

幸 山 智子

Hiroshima Survivors and Their "Mother Country," America:

An Examination of the Japanese-American Hibakushas

in Naomi Hirahara's *Summer of the Big Bachi*

永 川 ともし子

A Disintegrating Story: The Circles of Violence in *The*

Bluest Eye 吉 田 希 依

英語の二重目的語構文および前置詞と格構文について

—「ニ」マリストアプローチ— 大 塚 知 昇

英語数量詞句の作用域解釈 下 飯 屋 翔

On Gapping and Multiple Sluicing in English 高 木 留 美

Covert Wh/Focus Movement Obeys Derivational

Relativized Minimality in Japanese 前 田 雅 子

JELS 98号(2012年3月)

Gerunds in Phase Theory 下 飯 屋 翔

平成24年3月日本言語学会第一四三回大会発表賞受賞

前田 雅子

独文学研究室

講義題目

平成二十四年度第一学期

文学部・独語学

作文 Aufsatz

モンホフ教授

会話 DEUTSCH 1

モンホフ教授

演習 DEUTSCH 2

モンホフ教授

演習 ドイツ語の語彙論Ⅰ

(言語文化研究院) 恒川元行教授

演習 独語科指導法Ⅱ

(情報基盤開発センター) 田畑義之教授

文学部・独文学

講義 水の女

小黒 教授

演習 ルードルフ・カスナー『モティーヴェ』Ⅰ

小黒 教授

臨講 ワルシャワ―20世紀の首都

(大阪府立大学) 細見和之教授

臨講 〈可視性〉をめぐる闘争

世紀末から戦間期の

ドイツ文学・思想

(立教大学) 前田良三教授

人文科学府

演習 Hauptseminar

モンホフ教授

演習 ヘルタ・ミュラー『心獣』Ⅰ

小黒 教授

特研 Kolloquium

小黒 教授

平成二十四年度第二学期

文学部・独語学

会話 DEUTSCH 1

モンホフ教授

演習 DEUTSCH 2

モンホフ教授

演習 ドイツ語の語彙論2

(言語文化研究院) 恒川元行 教授

講義 第三の国

小黒 教授

演習 Proseminar

モンホフ教授

演習 ルードルフ・カスナー『モティーヴェ』Ⅱ

小黒 教授

臨講 ヴァーグナーの総合芸術―そのギリシア受容を

軸として―

(熊本大学) 杉谷恭一教授

臨講 エクソフォニーと文学のグローバル化

―多和田葉子の場合 (早稲田大学) 松永美穂教授

演習 Hauptseminar

モンホフ教授

演習 ヘルタ・ミュラー『心獣』Ⅱ

小黒 教授

特研 Kolloquium

小黒 教授

学会・研究室行事

○九州ドイツ文学「第25号（平成二十三年十一月発行）」

・『我が人生より第二部』から『第二次ローマ滞在』へ

―ゲーテ『イタリア紀行』における叙述不可能なものを叙述する試み―
平松 智久

・ドイツ民族商業補助者連合（DHN）の教育活動

―その全体像と「民族主義的」特色―
補説 フィヒテ協会と雑誌『ドイツ民族性』

竹岡 健一

・エッセイストとしてのトーマス・マン―「ボンの文学史協会への報告」を中心に―
日高 雅彦

・ルードルフ・カスナー『変身』について 訳者解題として

小黒 康正

・〔翻訳〕ルードルフ・カスナー著『変身 観相学的研究』

（小黒 康正）

・〔書評〕松村朋彦著『越境と内省 近代ドイツ文学の

異文化像』
（安藤 秀國）

○日本独文学会西日本支部第63回研究発表会

（平成二十三年十二月三―四日 於熊本大学文学部）

・絶対的な響き―トーマス・マン『政治的人間の考察』を
中心に―
坂本 彩希絵

・トーマス・マンの「演劇試論」について 日高 雅彦

・粹物語としてのゲーテ『親和力』について 木田 綾子

・"Dort hab ich Ähnliches, als Goethe fand, gesucht": Die

Auseinandersetzung mit Goethes "West-östliche[n]

Divan in Friedrich Rückerts "Östliche[n] Rosen"

Sascha Monhof

○合同セミナー（阪大独文との合同コロキウム）

（平成二十四年三月十五日 於九州大学文学部）

・「水の女」の身体論的トポス研究

・フランツ・カフカ『失踪者』―記述された世界からの逃走

・近代日本のドイツ美術受容

野村 優子

○ジビレ・クレーマー教授（ベルリン自由大学）講演会

（平成二十四年三月二十二日 於九州大学文学部）

・Schriftbildlichkeit: Reflexion über die Schrift zwischen

Sprache und Bild.

○九州大学独文学会第26回研究発表会

（平成二十四年四月二十八日 於九州大学文学部）

・近代日本のドイツ美術受容

野村優子

・動詞・形容詞の結合能力における統語論と意味論の関係

馬場崎 聡 美

○アジア地区ゲルマニスト会議

(平成二十四年八月二十二日 於中国・北京)

・Die abstrakten Holzschnitte von Koshiro Onchi und die deutsche Kunst. Die Rezeption der deutschen Kunst im modernen Japan. Yuko Nomura

○聖和女子学院高等学校との高大連携授業

(平成二十四年九月二十一日 於佐世保市)

小黒 康 正

○福岡県立筑紫高等学校との高大連携授業

(平成二十四年九月二十六日 於九州大学文学部)

小黒 康 正

○アイヒェンドルフ・フォーラム

(平成二十四年九月二十八日 於ドイツ・フランクフルト)

・Die Abwesenheit des Geldes oder die Anwesenheit des Nichts in der Novelle *Aus dem Leben eines Taugenichts*. Aki Mizumori

○日本独文学会秋季研究発表会

(平成二十四年十月六―七日 於中央大学)

・ゲーテの散文作品における梓物語

木 田 綾 子

○ベルリン国立美術館展講演会

(平成二十四年十月二十一日 於九州国立博物館)

・ベルリン、都市と美術館

野 村 優 子

○ザスキア・フィッシャー(ドイツ・ビレフェルト大学) 講演会

(平成二十四年十月二十六日 於独文学演習室)

・Zwischen Affirmation und Kritik: Überlegungen zu Ritual und Ritualität in Brechts *Maßnahme* (1930).

人事異動

・坂本彩希絵助教、長崎外国語大学講師に着任(平成二十四年四月一日)

・平松智久専門研究員、松山大学講師に着任(平成二十四年四月一日)

・下薗りす、専門研究員に着任(平成二十四年十月一日)

仏文学研究室

講義科目

平成二十四年度前学期

仏語学

演習 フランス語会話Ⅱ

講義 フランス語学講義Ⅱ

仏文学

演習 20世紀の小説

演習 20世紀の文学批評

特論 ZIC研究

研究 テクスト分析の諸問題

演習 博士演習

演習 仏文学講読

講義 エミール・ゾラ『居酒屋』を読む

特論 文学研究の理論と実践

研究 自然主義文学研究

演習 博士演習

特論 マルセル・ブルースト『スワンの恋』を読む

研究 フランス語小論文

研究 フランス語小論文

平成二十四年度後学期

仏語学

演習 フランス語作文Ⅱ

演習 フランス語学演習Ⅱ

仏文学

演習 20世紀の小説

演習 20世紀の文学批評

特論 ZIC研究

研究 テクスト分析の諸問題

演習 博士演習

演習 仏文学講読

講義 フランス近代詩研究

特論 文学研究の理論と実践

研究 ロマン主義文学研究

演習 博士演習

演習 フランス文学特殊研究

臨講『失われた時を求めて』受容研究
(言語文化研究院) 佐藤 典子 准教授

(帝塚山学院大学) 禹 朋子 教授

グージョン教師

〃

〃

グージョン教師

〃

吉井 教授

〃

〃

〃

高木 准教授

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

学会・研究室行事

仏文学関係

○「ステラ」第30号（平成二十三年十二月発行）

Marcel Proust et « Les trois critiques » selon Albert

Thibaudet

Pierre-Edmond ROBERT

La lecture de *La Douleur* de Richaude chez Carnus

Tomoko ANDO

百閒漫歩―逢魔が時の文学―（その3）

森 茂太郎

フランス語受動的再帰構文の意味構造

井口 容子

フランス語・文学教育の新局面

―1925年カリキュラム指導書をめぐって―

飯田 伸二

写本装飾の位相

―「マルグリット・ドルレアンの時祷書」の余白装飾―

田 辺 めぐみ

ヴィオレール・デュックと文芸誌『リセ・フランセ』

―書誌的側面から―

1831年、1832年のスタンダール―流動する歴史の傍らで―

栗 須 公正

ゾラはマネを理解しきれなかったのか

―マラルメとゾラ的美術批評におけるマネ評価について―

吉 田 典子

『失われた時を求めて』 初期受容

―「スワン家の方へ」をめぐって―

禹 朋子

メムノンの眩き―ブルーストと〈声〉の詩学―

小 黒 昌文

エルスチールとエミール・マール

―ブルースト草稿カイエ34の再検証―

加 藤 靖恵

ギユス・ポファが見た〈恐怖〉

木 下 樹親

ウィーヌ氏、マイナスの司祭

野 村 知佐子

ドリユ・ラ・ロシエルと表象の危機

―『シャルルロワの喜劇』再読―

松 尾 剛

歴史と忘却―反歴史的小説としての『最初の人間』―

千々岩 靖子

ジッドとガストン・ソーヴボワ

吉 井 亮雄

エチエンヌはジッドの「いとこ」なのか

吉 井 亮雄

人事異動

○フランシヌ・グージョン 四月一日、招聘外国人教師に就任。

○安藤智子 四月一日、助教に就任。

言語学研究室

講義題目

文学部

平成二十四年度前期

| | | |
|--------|------------------------------------|-------|
| 概論 | 言葉と歴史・社会・心理 | 坂本勉 |
| 講義 | 言語理解研究概説 | 坂本勉 |
| 演習 | 音韻論入門1/2 | 久保智之 |
| 演習 | 論文の読み方・書き方 | 上山あゆみ |
| 講義 | 音声学の基礎 | 下地理則 |
| 実習 | 卒業論文指導 | 各教員 |
| 講義(集中) | 心理言語学における実験・調査データの分析方 (武庫川女子大学) | 井上雅勝 |

平成二十四年度後期

| | | |
|----|-----------------------|-------|
| 演習 | 文理解研究 | 坂本勉 |
| 講義 | 音韻論入門2/2 | 久保智之 |
| 講義 | 日本語研究の基礎 | 上山あゆみ |
| 演習 | 多様な言語を比べてみよう〜言語類型論入門〜 | 下地理則 |
| 実習 | 卒業論文指導 | 各教員 |

講義(集中) 言語の歴史的研究の方法とその実践
(京都大学) 吉田和彦

講義(集中) 話しことばの文法を考える
(神戸大学)

定延利之

人文科学府

平成二十四年度前期

| | | |
|--------|------------------------------------|-------|
| 特論 | ソシユール研究の諸問題I | 坂本勉 |
| 研究 | 言語研究における基礎的データI | 坂本勉 |
| 特論 | 満洲語講読(康熙朝奏摺) | 久保智之 |
| 研究 | 音韻論の諸問題1/2 | 久保智之 |
| 特論 | 構造と意味 | 上山あゆみ |
| 研究 | 統語理論演習 | 上山あゆみ |
| 特論 | ワールド言語学入門(琉球語) | 下地理則 |
| 研究 | 文法記述と言語類型論 | 下地理則 |
| 言語学研究法 | | 全教員 |
| 論文指導 | | 各教員 |
| 博士演習 | | 各教員 |
| 講義(集中) | 心理言語学における実験・調査データの分析方 (武庫川女子大学) | 井上雅勝 |

法

平成二十四年度後期

| | | |
|----|---------------|-----|
| 特論 | ソシユール研究の諸問題II | 坂本勉 |
|----|---------------|-----|

研究 言語研究における基礎的データⅡ 坂本 勉

特論 満洲語講読（康熙朝奏摺） 久保 智之

研究 音韻論の諸問題2/2 久保 智之

特論 言語理論と観察の一般化 上山 あゆみ

研究 統語理論演習 上山 あゆみ

特論 自然談話データと言語記述 下地 理則

研究 「単語」の類型論 下地 理則

言語学研究法 全 教 員

論文指導 各 教 員

博士演習 各 教 員

講義（集中） 言語の歴史的研究の方法とその実践 吉田 和彦

講義（集中） 話しことばの文法を考える 吉田 和彦

講義（集中） 話しことばの文法を考える 吉田 和彦

講義（集中） 話しことばの文法を考える 吉田 和彦

学会・研究室行事

九州大学言語学研究会

第八十回

（二〇一二年九月七日 於九州大学文学部会議室）

「実証的研究としての心理言語学」

（武庫川女子大学） 井上 雅勝

第八十一回

（二〇一二年十月五日 於九州大学文学部会議室）

「歴史言語学とプロソディー—アナトリア祖語とモ—ラ」

（京都大学） 吉田 和彦

第八十二回

（二〇一二年十二月十五日 於九州大学文学部会議室）

「早田輝洋先生への三つの質問」

（元九州大学、元大東文化大学） 早田 輝洋

第八十三回

（二〇一二年十二月二十一日 於九州大学文学部会議室）

「話し言葉が好む複雑さ」

（神戸大学） 定 延 利之

第八十四回

（二〇一二年十二月二十八日 於九州大学教育学部会議室）

「日・英語理解の普遍性・非普遍性—事象関連電位に観る統語的依存文処理—」

（UC San Diego） 植 野 美枝子

日本語学会 第四百四十五回大会

（二〇一二年十一月二十四日～二十五日 於九州大学文系

キャンパス）

博士論文公聴会

王慶「量化解釈と疑問解釈―集合と個体の関係に基づく統一的
分析―」

(二〇二二年四月二十五日 於教育学部会議室)

人事移動

下地理則准教授着任(平成二十四年四月一日、群馬県立女子大
学より)